

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高齢者クラブ連合会補助金		基本目標	高齢者の生きがいづくり支援		
担当課(局)・係	健康福祉課	介護高齢者福祉係	記入者	浜野智子	評価者	井上敏郎
					開始年度	s47 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください					
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)				

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	高鍋町高齢者クラブ連合会										
	意図・目的	高鍋町高齢者クラブ連合会による高齢者クラブの活動促進										
事業の内容	町高齢者クラブ連合会が行う高齢者クラブの活動促進に資する各種取組、地域の再構築につながる活動、若手高齢者の組織化等に対する助成。											
主な支出項目	22年度決算額	398	千円	23年度予算額	398	千円	事業従事者数	H22 0.10	人	H23 0.10	人	
	国庫補助及び交付金	398	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	720			千円	
			千円	財源内訳	県支出金	265	千円	23年度人件費	714			千円
			千円		地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		33.4	%	
			千円		一般財源	133	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
		千円				千円						
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input checked="" type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		高齢者クラブ連合会補助金							
	補助交付団体		高鍋町高齢者クラブ連合会		補助金要綱		老人等在宅福祉事業費補助金					
	22年度	補助額	398,000	円	補助の形態	国県補助	23年度補助額	265,000	円	終期	年度	
		団体の決算額	690,389	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等							
		補助の割合	57.6	%								
繰越額		191,860	円	なし								

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1	
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1	
	2	
	3	

◎達成状況

	指標名	単位	21年度	22年度	23年度
			目標値		
成果指標	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
活動指標	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			
	0	実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
		目標値			

事務事業名	高齢者クラブ連合会補助金	担当課(局)	健康福祉課
-------	--------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	0	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	1	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	0	-
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	2	-
合計(最高18点)		11	-

※町補助をしている場合のみ記入

公益平性 (公益性)	高齢者全般に及ぶ補助事業である。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
		◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)		3	-	
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	今後の方向性			
		拡充	現状維持	縮小	廃止
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	高齢化社会において、元気な高齢者の育成、高齢者の生きがいづくりは、町に課せられた重要な責務であり、今後も引き続き継続する必要がある。		○		
コスト		廃止	縮小	現状維持	拡充

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎高齢者の生きがいづくりにおいて、子供とのふれあいにより、お年寄りを大切に する精神等を学ばせてほしい。 ◎高齢者クラブの存続が危ぶまれる状況にあるらしいので、社会教育課と連携して 生涯学習、公民館活動の一環として対策を講じる必要があるのではないか。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員 評価	-	
	外部 評価	-	